

2014年度 第6回町田市子ども・子育て会議 議事要旨

日 時 2015年2月17日(火)
場 所 市民協働おうえんルーム

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 子ども生活部長挨拶
4. 議題・意見交換
 - (1)町田市子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について
 - (2)町田市子ども・子育て支援事業計画(案・最終)について
5. 報告
 - (1)新制度に係る条例の制定改廃について
 - ①町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例(案)
 - ②町田市市立保育園における特別保育の実施に関する条例の一部を改正する条例(案)
 - ③町田市保育の実施に関する条例を廃止する条例(案)
 - (2)今後のスケジュールについて
6. 閉会

【配布資料】

- 【資料1】 第6回町田市子ども・子育て会議 座席表
- 【資料2】 町田市子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果
- 【資料3】 町田市子ども・子育て支援事業計画(案)【最終版】
- 【資料4】 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例(案)
- 【資料5】 町田市市立保育園における特別保育の実施に関する条例の一部を改正する条例(案)
- 【資料6】 2014年度第5回 町田市子ども・子育て会議 議事要旨

2014年度第6回町田市子ども・子育て会議 出席者

| 氏 名 | 所 属 | 出欠 |
|-----------------|----------------|----|
| ◎ 金子 和正 | 東京家政学院大学教授 | 出 |
| ○ 吉永 真理 | 昭和薬科大学教授 | 出 |
| 小山 貴好 | 町田市私立幼稚園協会 | 出 |
| 宮 聖栄 代理:吉浦園長 | 町田市法人立保育園協会 | 出 |
| 藤田 義江 | 町田市社会福祉協議会 | 出 |
| 山本 弘明 | 町田市公立小学校校長会 | 出 |
| 田村 望世 | 町田市民生委員児童委員協議会 | 出 |
| 安西 弘子 | 市内在住の「保育士」 | 欠 |
| 雨宮 三穂 | 玉川中央幼稚園の教諭 | 出 |
| 澤井 宏行 | 町田商工会議所 | 欠 |
| 矢野 洋子 | 公募委員 | 出 |
| 萩原 潤一 | 公募委員 | 出 |
| 奥村 有紀子 | 公募委員 | 出 |

◎ 会長 ○ 副会長

事務局出席者 小池 晃 子ども生活部部長
 三橋 薫 子ども生活部子ども総務課課長
 鈴木 亘 子ども生活部子ども総務課担当課長
 加藤 慎也 子ども生活部子ども総務課主任
 小田島 一生 子ども生活部児童青少年課課長
 田中 隆志 子ども生活部子育て支援課課長
 横須賀 秀男 子ども生活部子育て支援課子育て相談担当課長

1. 開 会

(子ども総務課担当課長) 2014年度第6回町田市子ども・子育て会議を開会する。
澤井委員、安西委員が欠席される旨連絡を受けている。また、田村委員は、「少し遅れる」とのことである。
出席委員は11名となるので、委員の数は半数を超えており、子ども・子育て会議条例第8条第2項に基づき、会議は有効に成立している。
それでは、議事進行を金子会長にお願いする。

2. 会長挨拶

(金子会長) だいぶ会議のほうも大詰めになってきたので、ご協力をよろしくお願ひする。

3. 子ども生活部長挨拶

(小池部長) パブリックコメントを実施し、だいぶ意見が出たが、直接の意見はなかなか少なかったようである。

国や東京都から新制度に向けたさまざまな制度の詳細が示されてきており、それに伴って、見直さなければいけないところが多々出てきた。後ほどその辺もご紹介してご意見等をいただきたい。

パブコメの結果と最終案の審議ということで、かなり重要な会議になるので、ご審議の上、ご検討いただきたい。

(金子会長) それでは、議事に先立ち事務局から連絡事項がある。

-事務局から、会議の公開に関する事務連絡-

-傍聴者入室-

-事務局から、配布資料の確認及び第5回会議の概要説明-

4. 議題・意見交換

(1) 町田市子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について

(金子会長) 本日の次第4 議題に入る。町田市子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果について、事務局に説明をお願いする。

-事務局から、資料2の説明-

(奥村委員) どの意見をどのように反映したのかは、どこを見ればわかるのか。

(事務局) のちほど計画案のほうで説明する。

(藤田委員) 学童保育クラブは、特に4年生のニーズが多い。「どのようなかたちでニーズに応じていけるか検討していきます」とあるがどのような方向性を考えているのか。

(児童青少年課長) 受け入れについて、具体的に量の見込みの中でも、いつからということとは記載していないが、この先子どもの数が減ってくる。もう一方で

は、入所希望の方が少しずつ増えてくると見込んでいるので、その中でどこかで受け入れ可能なら、時期が来た段階で、段階的に受け入れをしていくことになると考えている。

(藤田委員) 「まちとも」の関係とかはいまのところ関係ないというか。あくまでも学童保育クラブか。

(児童青少年課長) いまの「まちとも」といった放課後のさまざまな取り組みがあるので、そちらにも力を入れることで、学童保育からそちらを希望するという方も出てくると考えているので、ここについても今後力を入れていく。

(吉永副会長) 「その他」のところは、「ご意見として承り、参考とさせていただきますが、ずっと続いているが、これを正式な回答とするのか。

(子ども総務課担当課長) 先ほどお話したように、これそのものが、例えばホームページで公開するというわけではない。やっと整理が終わったところなので、個々に答えられるものについては、検討を進めた上で、個々に回答していきたいと考えている。

(金子会長) この辺になると、「パブリック」というよりも「プライベートコメント」に対するアンサーのようになってしまう。

(奥村委員) 一番後ろから2番目の「すみれ教室」とか平日しか使えないというのは、やはり働く保護者としては、それ以外のところで相談できるような機会というものもぜひ増やしていただきたいと思っている。

(事務局) 参考にする。

(萩原委員) 1(1)のところの「教育・保育提供区域の設定」の「市の考え方」の部分で、この回答だと、これだけ見れば「だから5区域にしました」という結論にはなると思うので、「意図を汲んでください」という話になるが、質問に対しての明確な回答になっていないのではないかと。鈴木課長の「5区域に分けた」というのも、「実は他市に比べると結構細かく区切ったほうなのですよ」みたいなことを言ったほうが、いいのではないかと。

(奥村委員) 「計画を考えるにあたって」のようなところに、こういうようにした理由を明示すべきではないか。

(宮委員) 「兄弟が別々の保育園になると親の負担が大きいと、同じ保育園に入れることを希望する」、先ほどの話だと、個人的な話になると受け止められがちだが、実際はとても多い。「兄弟が同じ園になってほしい」というところは、的を射ているお母さんたちの意見だと思う。

(子ども生活部長) その制度として、加点で、同じ園の場合には2点加点するなど入所の調整を行っている。

また、これからコンシェルジュという中でそれをやっていく。

(2) 町田市子ども・子育て支援事業計画(案・最終)について

(金子会長) それでは、(2) 町田市子ども・子育て支援事業計画(案・最終)について、事務局に説明をお願いします。

-事務局から、資料3の説明-

(子ども総務課担当課長) (資料3について説明)

(奥村委員) 前回もお願いしたが、この計画は何の計画なのかということが載っていない。「この計画とは」ということが書いてあると良い。

- (子ども総務課担当課長) 策定の趣旨の部分で、含められないかと思っているが、この中身について、これを膨らますのか、敢えて外に出してもっと明確にするのか検討する。
- (奥村委員) また、この計画に基いて町田市がやろうとしていることを丁寧に説明してほしい。
「この計画とは」「計画の位置づけ」も、どこまでが町田市の話なのか明瞭ではない。グレーがバックになっているところの固まりは一体何を表しているのかも明瞭になっていないので、そのあたりをもう少しわかりやすくしてほしい。
- (子ども総務課担当課長) わかりました。
- (宮委員) 47ページの「確保の内容及び実施時期」で、これだけの園をつくりますとあるが、これに付随して、保育士不足がここに検討されていない。この状況だと、保育士不足が深刻化し、計画が成し得ない方向にいくのではないか。その点はどのように考えているのか。
- (子ども総務課担当課長) 実際この計画を遂行していくには、確かに『人』だとか『質』の部分への対応が必要だと思うので、考えたい。
- (宮委員) 「ニーズの数だけを捉えた事業計画として私も受け止めてよろしいのでしょうか」ということにもなる。
- (子ども総務課担当課長) ご認識のとおり、あくまでも事業計画になる。ニーズ量に対して実績を含めて数値を出す。町田市として、こういうようにつくっていく、その数を示すものという認識はそのとおりだと思う。
- (萩原委員) 33ページ、「量的拡大」以降、上の3行の中で「質の高い」とか「質の改善」という「質」の議論の話が出ている。4章の47ページに載せるかどうかは別の話ではあるが、質的な改善をどうしていくのかというものは、計画なので「やります」とはいえないと思うが、保育士の確保とか先ほど出ていた「学童の6年生までの拡大」とか、パブリックコメントでも出ているものもあるので、計画の中に記載してほしい。
- (子ども総務課担当課長) 検討する。
- (萩原委員) 4章の2項の中の11事業の中で、今後の進め方が各事業の「今後の事業等の進め方」の中で書かれているので、その辺のところにも少しでも追加するだけでもいいのではないか。
- (子ども総務課担当課長) 国のほうでも、質的なものだとか人材確保という部分は出ているので、その辺も加味して検討したい。
- (子ども総務課担当課長) 31ページの町田市の基本方針には、そういった趣旨を踏まえて書かれている部分である。
- (萩原委員) 19ページ以降で、「子育て世代の状況」で、アンケート結果がずっと続いている。アンケート結果に基いて、後半4章の括弧2とかの事業になっていると思うが、この辺のリンクができるのか。
- (子ども総務課担当課長) 検討する。
- (小山委員) 31ページの「基本方針」の中には、「子どもの最善の利益」という言葉が入っているが、趣旨とかその前のところでは、あまり位置づけられていない。基本理念に「子どもの最善の利益が実現できる社会を目指して、共働き家庭だけではなく、すべての子育て家庭を支援す

- る」という方向にもっていったほうが良いのではないかと
検討する。
- (子ども総務課担当課長)
(小山委員) いままでの背景の中でも、子どもがいてこういう施設が必要だったのではないかと思う。ですから、その中にいままで幼稚園、保育園、学童とか、保育園不足、待機児解消のことばかり書いてあるような感じに見えてしまう。子どものほうが何か抜けているような文章でスタートされている。第3章まで来ないと、メインが出てこないのではないかと思う。
- (子ども総務課担当課長) 了解しました。検討したい。
- (奥村委員) 用語を統一してほしい。例えば、40ページ・41ページの辺り。「地域型保育事業とは、家庭的保育事業、小規模保育事業」と書いてあるが、実際に表を見てみると、今度は「確保の内容」のところは今度3つに分かれている。一番上の「教育・保育施設」というのは、一体何がここに含まれるのかはどこにも書いていない。データを読もうと思うとかなり厳しい。あと「ニーズ量」という言葉も、説明がない。
- (子ども総務課担当課長) 了解しました。検討したい。
- (金子会長) この「用語説明」も、それと一緒にタイアップして、もう一回見直したほうが良いかもしれない。
- (子ども総務課担当課長) 「用語説明」もまだ足りない部分もあることは承知しているので、追加する。
- (山本委員) 62ページの「3」の「幼児教育の云々」というところがありますが、ここだけが非常に内容が薄い。最後のところで「幼児期の学校教育・保育と小学校教育との円滑な接続の取組推進、保幼小連携を実施します」とあるが、中身が全然わからない、何をするのか知りたい。
- (奥村委員) 2014年度整備の中に「認可保育所へ移行1園」と書いてあるがも、「移行」ということは、増えていないから、何から何に移行したのかわからない。
- (子ども総務課担当課長) 現状としては、「認証」から「認可」に変わっている。それをどう表現するかということだと思う。
- (藤田委員) 62ページ、最後の文章で、「幼保小連携」とか保育と小学校教育といっているが、ここに学童を入れることはできないか。
- (子ども総務課担当課長) 検討する。
- (金子会長) いろいろ意見が出たが、事務局で整理してもらい、最終案に反映していただくということで、よろしいか。

5. 報告

(1) 新制度に係る条例の制定改廃について

① 町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例(案)

②町田市市立保育園における特別保育の実施に関する条例の一部を改正する条例
(案)

③町田市保育の実施に関する条例を廃止する条例(案)

(金子会長) 次第5 議題に入る。(1)新制度に係る条例の制定改廃について、事務局に説明をお願いします。
-事務局から、資料4、5の説明-

(2)今後のスケジュールについて

(金子会長) (2)今後のスケジュールについて、事務局に説明をお願いします。
(子ども総務課担当課長) 2月25日の水曜日、来週の水曜日までに、ご意見を寄せていただけたものを反映させていきたい。
(小山委員) 「幼児期の学校教育・保育の一体的な提供及び推進」では、「学校教育」の「学校」は要らないのではないか。
今後の活動の中に、小学校の連携とか推進が図られるための文言があまりにも少ない。教育委員会がないということによるものだと考えられるので、教育委員会の意見もぜひ反映できるようなかたちをとっていただきたい。

6. 閉会